

真言

発行 宗教法人真言宗豊山派

医王山興福寺大楽院

住職 酒主 秀寛
名誉住職 酒主 明寛

ご宝号

「南無大師遍照金剛」をお唱えしましょう

お墓参りをした後は
本堂でご本尊様に近況報告をいたしましょう

東日本大震災慰霊法要

毎月十一日の朝勤行時には月命日法要を行っておりますが、三月十一日、当山の朝勤行に併せ改めて慰霊法要を行いました。



また当日は午後二時より相馬市歓喜寺内支所慰霊堂「慈眼院」において、支所主催の慰霊法要が遠藤賢明支所長を導師に営まれ、当山からは住職が職衆として出席しました。

慰霊堂内には支所下各寺院の東日本大震災物故者の過去帳が納められ、当山では震災以降から避難指示解除までの間にお亡くなりになった六十柱が納められております。今後も毎年三月十一日に慰霊法要を行うべく予定しております。

付属墓地無料開放中です

墓地を希望される方は寺族へご相談ください。無料で開放しております。

転居された方はご連絡を

寺報等が確実に届くためにも、住居を異動された方は必ずご連絡をお願いいたします。

コロナの影響 どこまで続く

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から当山恒例行事の中止、縮小等が相次いだ。三月二十日開催予定の大般若経六百巻転読会は中止。彼岸の中日に実施することにより、お墓参りの方々にも多数参加していただいていた行事であったため、大変残念であった。観音堂祈禱会、立石不動尊堂復興祈念碑開眼式も規模を縮小して実施。春の総代研修会も実施見合わせとなった。

私たちは自分でできる感染症対策に励行し、思いもよらず発症してしまった方々を孤立させることなく、皆で支えあっていくことが大切です。感染症の一日も早い収束を願うものです。

立石不動尊堂復興祈念碑開眼式

松館地区にある立石不動尊堂境内にこのほど祈念碑が建立され、開眼法要が行われた。

檜葉町の完全復興と地区の繁栄を願い、平成にあった大震災からの復興の歩みを令和の初年度に記し、歴史の継承を願い刻字した。草野昌男不動尊堂総代らが出席し完成を祝った。



元日護摩祈禱会

当山恒例の元朝護摩祈禱会、約五十名の檀信徒においでいただきご一緒に祈願いたしました。



支所檀信徒研修会開催

十一月十三日、相馬市において支所主催檀信徒研修会が開催された。豊山流大師講詠匠池戸義久師を講師に「御詠歌で巡る大和長谷寺」と題して講演と詠歌奉詠があった。会場には、支所下檀信徒が大勢詰めかけ大盛況であった。

当山からの参加者は、芦口シゲ子、草野厚子、菅野伯恵の各氏。ご参加ありがとうございました。



秀寛 福島二号支所布教長に就任

このたびは二号支所の布教長に就きました。任期は四月一日からの四年間。支所役員として精一杯務めてまいります。

- 尚、支所役員は次のとおりです(敬称略)
- 支所長 林 心澄(浪江町・清水寺)
- 副 長 山岡 観舟(双葉町・自性院)
- 布教長 酒主 秀寛(当山住職)
- 支所書記 遠藤 賢幸(南相馬市・安養寺)
- 協議員 草野 周一(飯館村・善心寺)
- 同 百田 尊道(南相馬市・宝蔵寺)
- 同 横山 康文(浪江町・長安寺)
- 同 山田 智博(南相馬市・医徳寺)
- 同 布教副長 百田 尊道【協議員と兼務】
- 布教幹事 半谷 哲也(大熊町・遍照寺)
- 布教書記 鈴木 俊隆(相馬市・撰取院)

水子地蔵尊供養会

十一月二十三日、供養会が行われた。供養会々長渡辺芳男氏をはじめ皆様のご参加により供養会ができましたこと感謝いたします。

檀信徒研修会

総本山長谷寺団参を計画中です

檀信徒研修会(猪苗代方面・お寺での研修会ほか・日帰り・大型バス利用・定員三十名)及び総本山長谷寺団参(一泊二日・航空機利用)を秋頃に計画ですが、実施については新型コロナウイルスの状況により慎重に判断いたします。

参加を希望される方は住職までお申し出ください。

医王山興福寺大楽院 役員

- | | |
|-------|--------------|
| 代表役員 | 酒主 秀寛 |
| 責任役員 | 芦口 一美 |
| 同 | 渡辺 勝康 |
| 同 | 渡辺 芳男 |
| 総 代 | 箱崎 豊 |
| 同 | 小松 イク |
| 同 | 會澤 節夫 |
| 同 | 猪狩 正久 |
| 同 | 渡辺 好男 |
| 同 | 草野 公雄 |
| 同 | 鈴木 恒男 |
| 同 | 高野 幹生 |
| 同 | 草野 仁 |
| 同 | 橋本 明 |
| 代表世話人 | 草野 武夫 |
| 同 | 小松 岳生 |
| 同 | 草野 久 |
| 同 | 小野 治久 |
| 同 | 根本 正勝 |
| 同 | 新妻 孝 |
| 同 | 猪狩 芳樹 |
| 同 | 樋口 陽興 |
| 同 | 新妻 則彦 |
| 同 | 渡邊 幸生 |
| 同 | 猪狩 雄男 |
| 同 | 猪狩 義栄 |
| 同 | 小松 信夫 |
| 同 | 関谷 宗久 |
| 同 | 猪狩 一信 |
| 同 | 草野 和治 |
| 同 | 猪狩 三男 |
| 同 | 久保田 明 |
| 同 | 渡邊 良平 |
| 同 | 信徒総代 松本 公一 |
| 同 | (敬称略・四月一日現在) |

ゴミの持ち帰りをお願いします

墓地のまわりにゴミが捨てられています。お墓参りの後はきれいな気持ちでお帰りください

新総代に草野 仁氏

十二月八日に総代会が開催され、大谷字仲平の草野仁氏が満場一致で新総代に推挙された。

氏は代表世話人として長年当山隆昌に尽力されている。ますますのご活躍を期待いたします。尚、四月一日付けで氏に任職より任命書が授与された。

また、総代高野繁男氏が総代顧問へ就任した。長年にわたる当山へのご協力たいへんありがとうございます。

観音堂祈祷会

三月十五日、井出字西原にある観音堂において祈祷会が行われた。

当日は、新型コロナウイルスの影響により任職のみで東日本大震災震災で犠牲になった畜牛の鎮魂供養を行い、併せて願主の家の安全、事業繁栄、家畜安全等の諸祈願が行われた。



権律師法印大道百回忌大菩提

十二月十八日は、当山第四十世・中興第三世権律師法印大道の百回忌御命日でした。

当山の先師尊靈に感謝し塔婆を建立し、追善の誠を捧げました。

これからも檀信徒、そして当家をお守りください。 合掌

令和二年大施餓鬼会並びに新盆供養会

一期 日 令和二年八月六日(木)
午前十時三十分

二 会場 大楽院本堂
三 内容 おつとめ指導・法話 十時三十分
法要 十一時

新盆家・総代で先祖代々塔婆供養、新盆者供養(尚、今後の状況により参集者及び内容の一部に変更が生じることがあることをご理解ください)

四 塔婆供養 全檀家様分ご準備いたします
五 供養料 塔婆一本 五千元
六 塔婆引渡 八月六日供養会以降 大楽院本院にて
午前八時〜午後五時

四国八十八箇所巡礼(愛媛県)

十一月二十四・二十五日、四国八十八箇所(伊予・菩提の道場)の巡礼を行い、檀信徒各位の安寧と衆生の福寿増長、檀中過去一切精霊の廻向を祈念してまいりました。



- 【巡礼先】 44番大寶寺、45番岩屋寺、46番浄瑠璃寺、47番八坂寺、48番西林寺、49番浄土寺、50番繁多寺、51番石手寺、52番太山寺、53番円明寺、54番延命寺、55番南光坊、56番泰山寺、57番栄福寺、58番仙遊寺、59番国分寺、60番横峰寺、61番香園寺、62番宝寿寺、63番吉祥寺、64番前神寺、65番三角寺

【お願い】

令和二年度施餓鬼(お盆) 塔婆供養料及び護寺費納入について

施餓鬼(お盆) 塔婆供養料は、檀家で精霊(祖霊)のある方にお願ひするもので、一本五千元となります。本堂その他堂宇の火災保険料等に充てられます。

護寺費は宗派・支所賦課金、本堂消耗仏具等の購入に充てられるもので、全檀家様にお願ひしております。一檀家二千元となります。いづれも、お寺の維持管理等のため必要となりますので、檀徒皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

詳しくは別途お送りする依頼文及び確認書をお読みになり、期限までお納めください。

御寄進

ありがとうございます

一. 八十八箇所願主

樋口美代子殿、草野寧殿、新妻伸浩殿、江川トミ子殿

一. 本尊供米

吉田昌子殿、宮本久司殿、大越一夫殿、松本公一殿

一. 本尊供花

鈴木裕子殿

なお、彼岸・盆・お年賀等のお供えについては、本堂内に掲示してございます。

銅製打ち出し地蔵尊

寄進

埼玉一号光明院様檀徒の渋谷様より、東日本大震災被害者供養のため、銅製打ち出し地蔵尊を御寄進いただき、当山書院玄閑脇へお祀りしました。ありがとうございます。



約二年間、25回にわたって開催した「寺ヨガ」が講師の転勤により最終回となった。お寺に気軽に足を運ぶには？敷居を低くするには？などと試行錯誤して開催しましたが、先生の人柄や参加者に寄り添った指導が好評で、檀信徒はもとより多くの皆様にご参加いただきました。今後も皆様に楽しんでいただけることを改めて考えていきたいと思っております。

遙か遠いところでおきていると誰もが思っていた「新型コロナウイルス」。信じて疑わなかった常識を疑い、何事も常に慎重になっっている自分たちがいる。宗教者たちは、疫病退散の諸祈願を行い、収束を願う。先人たちは幾多の困難を乗り越え、そして現在の我々がある。

日々生かされていることに感謝し、前に進んでいきたい。

合掌 (秀寛)

令和二年 年回表

一周忌 令和元年

三回忌 平成三十一年

七回忌 平成二十六年

十三回忌 平成二十年

十七回忌 平成十六年

二十三回忌 平成十年

二十七回忌 平成六年

三十三回忌 昭和六十三年

三十七回忌 昭和五十九年

四十三回忌 昭和五十三年

四十七回忌 昭和四十九年

五十回忌 昭和四十六年

百回忌 大正十年

追善供養は毎年行うのが本義です。ここには代表的な年回を掲載しました。また、毎月の命日にお参りする月参りを行えば一層ご供養が深まることでしょう。

真言宗豊山派医王山興福寺大楽院

法務等のご相談は、下記までお願いいたします。

酒主 秀寛

〒979-0603 福島県双葉郡楡葉町井出字谷地 6 5

電話 0240-25-2434 090-3753-3634

FAX 0240-25-4808

酒主 明寛

〒970-8044 福島県いわき市中央台飯野 2 丁目 6 番地 4 (真言宗豊山派大楽院別院)

ホームページ <http://dairakuin.net>

e-mail info@dairakuin.net

郵便振替 02220-2-92530 宗教法人大楽院



お寺の最新情報は、SNSで発信しております。